

わたしたちの人権

110

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできない当然の権利これが『人権』です

差別のない町をつくる

第18回「5・23差別をなくす山都地区集会」

昨年5月25日、矢部中学校体育館で第18回「5・23差別をなくす山都地区集会」が開催されました。669人の参加者がありました。本集会は部落差別をはじめ、いじめや仲間はずしなどのあらゆる差別をなくしていくことを目的に、子どもたちが主体となりながら、大人も共に学び合う場です。今年も、5月24日（土）に行われます。ぜひ多数の皆さんに参加していただきますようお願いいたします。



「どろんことたいよう」を合唱する参加者

日付…5月24日（土）
場所…矢部中学校体育館

【第18回5・23差別をなくす山都町地区集会】アンケートから

【小学生】

○わたしは「かわいそう」ということもさべつだということとがわかりました。わたしは足や手がない人をみたいた「かわいそう」と思っていたけれど、それはちがうとわかりました。これからはさべつにきづき、なくしていきけるようになりたいです。

○ある村だけ差別していることは、ゆるせないと思った。かわいそうや差別されている村などと思うことが差別して

いると思った。おかしいことをおかしいというには勇気がいるけど、みんなが協力すれば本当の正しいことが言えると思う。

【中学生】

○今回の集会で、差別のことについて改めて考えなおすことができたと思います。今日のことを今後に活かして差別を少しでも減らしていきたいです。

【高校生】

○昨年この集会に参加しました。小学生や保育園の子どもたちの発表はしっかりと内容で、それぞれに想いが強く聞いて共感できました。とてもいい話が聞けたと思います。これから生活に活かしていきたい大人になれたらいいなと思いました。

【この「集会」を通して、改めて差別をされる苦しさや大変さを実感しました。小さな取組かもしれないけれど、それがどんどん大きくなるのだと思いました。差別をされて見て見ぬふりをせず、きちんと止められるような人になりたいと思います。とても良い集会だったと思います。】

○子どもたちの学びがしっかりとされていることに驚いた

【一般20代】

○子どもたちの発表が年々ハッキリと堂々とそしてよく考えて・パワーアップしていると感じました。思いがしっかりと引き継がれているからだろうと思いました。この子たちが大人になって

とともに、自分の学びがまだまだ浅いこと、もっと学んでいかなければいけないことを強く感じました。解放子ども会の子どもたちは、自分が生まれ育った土地に誇りをもっていることに触れて、自分はどうなのかと見つめる機会になりました。参加してよかったです。

【一般30代】

○毎年参加することで、確認することが出来ます。その時その時、重ねることや、考えるこの内容も変わってきているのが分かります。発表してくださった方々ありがとうございました。

【一般40代】

○子ども達の事実はなにかをしらべていく強い意志や、友だちをつくるう、大切にしようという気持ちが伝わってきました。初参加でしたが、力をもらいました。いじめや差別の現実、子どもを育てる親の学びがたりないのではないのでしょうか。大人が学び続ける大切さを改めて感じた集会でした。

【一般50代】

○子どもたちの発表が年々ハッキリと堂々とそしてよく考えて・パワーアップしていると感じました。思いがしっかりと引き継がれているからだろうと思いました。この子たちが大人になって

いき、この思いがどんどん広がっていく事を願わずにはいられません。コッカードの紙芝居もとても良くわかりました。

○自分たちの住む町のことを自分たちの力で調べ、発表する子どもたちの自信にあふれた声、発表後のホッとした表情に住みよい町になっていくと確信しました。大人も頑張ります。

【一般60代】

○今回、集会に参加している勉強させて頂きました。日常身近に起きる問題であり、大人の私たちも相手のことを考えて思いやりを持って相手に接したいものです。

【一般70代】

○問題提起の紙芝居はすばらしかったです。感動しました。子どもの発表も最初の頃は作文だけとか言葉による意見だけだったのが、紙芝居や劇など視覚に訴えることも多く、内容がよく考えられて充実していると感じました。

尚、今年も「第19回5・23差別をなくす山都地区集会」を、5月24日（土）に午前8時45分から11時まで矢部中学校体育館で開催します。多くの町民の参加をお待ちしています。

季節のうた

馬見原酔山会

あっぱれや母百回のひな祭
こころざし花の盛りの別れかな
花散らす雨逸れたまへ止みたまへ

やまなみの会「山脈」

残雪や道行く人の背を丸め
鳥獣足跡残る今朝の雪
立春とききしばかりに気のゆるむ
水弾く羽毛纏いし水鳥も
身を震わせる矢部の真冬日
老いてなお多忙な師走きりぬけて
新年詠う幸せ思ふ
赤ん坊開放感が判るのか
おむつ外せば背のびしている

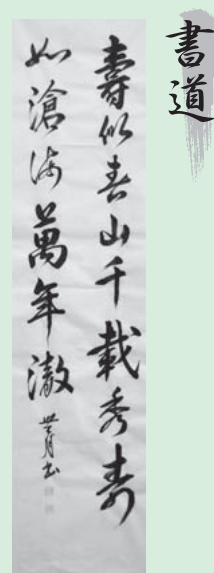
通潤句会

ふらここのかすかに揺れて春惜しむ
草焼きの残り火煽る修羅の風
菜の花に明日を約束陽の沈む

清和短歌会

蕾ふくらむ梅の小枝にとまりいて
二羽の雀は寄り添い喋る
嫺逝く参歌残して嫺逝く
吾も目指そう九十路の詠み人
幾つもの苦勞乗り越え今があると
春の出会いに教へ子語る

和光教室書道部の八田豊久さん（入佐）作



書道

壽似喜山千載秀妻
如滄海萬年漱



山都町観光案内所
ギャラリー喫茶
ルポン
☎72-1054

～ 5月ギャラリーのご案内 ～
「フォトサークル
山都写真展」
平成26年5月1日(木)
～31日(土)まで
水曜日定休日

私達会員が、町内外を問わずテーマも絞らず撮り歩いた自然・景勝地・山林・棚田・花などの写真を展示します（約30点程）

【出展者】
フォトサークル山都

5月の当番医

5月4日 伴 病院 (電話 72-0029)
5月11日 野 田 医 院 (電話 72-0307)
5月18日 矢部広域病院 (電話 72-1121)
5月25日 瀬 戸 病 院 (電話 75-0111)

山都町の人口

（平成26年3月31日現在）

男 8,099人 （-44）
女 8,687人 （-52）
計 16,786人 （-96）
世帯 6,701戸 （-12）

※（ ）は前月比
※最高齢は108歳〔女性1人〕
※平成26年3月の出生者数 3人（今年の出生者数 13人）
※平成26年3月の死亡者数 36人（今年の死亡者数 112人）

編集後記

4月になり、新年度を迎えました。私は今年も変わらず広報担当となりました。5月号を作成しながら、昨今の今頃を思い出していました。不安だけでなく、「なぜ自分が広報担当なんだ。」と思い悩んだこともありましたが、一年間色々なところにお邪魔し、取材、写真撮影をし、広報担当でなければまず出会うこともなかったであろう方たちと出会いました。それらで出会った人たちは、これから自分が生きていく中できっと役に立っていく人脈だと思います。

先日、表紙にもなっている You & You 成婚30組セレモニーの取材へ、下馬尾の「山神山の杜」に行きました。これまで一度も足を運んだことがなかったため、あの桜満開の景色には圧倒されました。この町のいい所など、これからも広く報せていければと思います。今年度も、よろしくお願いします（㊟）。